

令和元年度第2回印旛地区地域審議会 会議録

- 1 開催日時 令和2年1月30日(木)・午前10時～12時5分
- 2 開催場所 ふれあいセンターいんば 3階 会議室1, 2
- 3 出席者 櫻井健一 委員、櫻井由紀子 委員、竹内仁 委員、吉岡昌瑞 委員、
大野忠行 委員、須藤賢一 委員、横山三夫 委員、
- 4 欠席者 関野庄悦 委員、中村恵利子 委員、片倉恵美子 委員
- 5 事務局 企画政策課：小林課長、富澤課長補佐、櫻井係長、鈴木主査
- 6 傍聴者 なし
- 7 議事 (1) 新市基本計画の総括について
 - ①印旛地区・本埜地区意識調査について
 - ②新市基本計画の事業評価について
 - ③新市基本計画の総括(素案)について
- 8 議事録 要点筆記

議長： 議事(1)の①印旛地区・本埜地区意識調査について、事務局より説明願います。

事務局： 資料1に基づき説明。

議長： 事務局の説明が終わりました。ご質問等を伺います。

横山委員： 自由意見に色々書かれていますが、多くの課題に対する意見だと思います。地区別に纏めたほうが、この地区の方々はこのような意見が多いなどわかりやすかったのではないかと思います。

事務局： 今後のアンケート調査についてのご意見ということで承りたいと思います。

竹内委員： アンケート回答率が46.5%とあるが、これは統計として信頼して良い数値なのか。

事務局： 資料1の5ページに考慮すべき標本誤差がございまして、標本誤差は若干ありますけれども、今回の回答数からみると信頼はできるものと考えております。

議長： 他に質疑等ありませんか。

無いようでしたら、議事(1)の①印旛地区・本埜地区意識調査については以上とします。次に②の新市基本計画の事業評価についてを議題とします、事務局より説明願います。

事務局： 資料2に基づき説明

- 議長：事務局の説明が終わりました。ご質問等を伺います。
- 竹内委員：事業番号、81の印旛中央地区区画整理事業の促進について、総括評価票では進展しているかわからないので、現在の進捗状況を伺います。また、本事業に係る当事者の方はこれを読んで、合併して計画が進んだという理解をされるのか。そのような観点から説明していただきたい。
- 事務局：本事業には、これまでの経済情勢で、進めるのは難しい事業である中、URの土地を継承したという点では、ひとつ大きく進歩したと考えております。
- 竹内委員：事業番号81も82も土地区画整理事業を誘導し地区全体促進を目指していくという、今後の課題として、あるいは活動目標として、次の総合計画に引き継がれていくということなのか。
- 事務局：現在、次期総合計画の策定作業を進めているところでございますが、委員のご意見のとおり、本事業に限らず、新市基本計画で積み残したような事業につきましては、精査をして、引き継いでいくという考えでおります。
- 須藤委員：最新の情報では、検討会に動きがあったと聞いたことがあるので、本事業評価票を最新の内容に変えると、より良いのではないかなと思います。
- 事務局：今回、事業評価票を纏めさせていただきましたのは、今年度末を持ちまして、地域審議会が任期を満了となることもございまして、基本的に、平成30年度までの実績ということで纏めているところです。
- 横山委員：次の議題で、総括について説明があると思いますが、できれば、評価票の中に地区別ものがあれば良い。各地区において、どの事業がどこまで進んだのかなど、現状がわかりにくい。過去に答申した内容について、見える化、可視化することによって、今後のどうしたら良いのかということにつながると思います。
- 事務局：地域ごとの進捗というご意見がございまして、事業によっては、具体的な記載もありますが、各地域に限らず市域全体にサービスを提供しているものについては地域ごとに分けることが難しい事業もございまして、今回の事業評価票としては、このように纏めさせていただきました。
- 吉岡委員：本評価票は平成30年度までと説明していますが、最終的には、10年という令和元年度分も含めた評価票を作成することになるのか。
- 事務局：新市基本計画は、計画期間を概ね10年としております。今回、平成30年度までの評価票を纏めさせていただきましたのは、今後、新市基本計画の全体的な検証はしていくことになるかと考えているところもありますが、事業評

価票に令和元年度分を追加していくということは、現時点では考えておりません。

吉岡委員： 新市基本計画の総括とか評価については、ここで一区切りをつけるということか。

事務局： 審議会においては、本資料を参考に、総括評価をしていただきたいと考えております

竹内委員： 事業番号42の印旛沼2期事業促進について、本表の中で、28年度29年度30年度のところで宗吾西機場建設工事にH34というのがあるが、これは令和に変えた方が良いのではないか。

事務局： 元号の表記となりますので、再確認して対応させていただきます。

須藤委員： 新市基本計画の事業評価は、新しい印西市全体のことを考えての計画であり、それに対する評価という部分では良いと思いますが、最初に説明のあった意識調査で、良くなった、または悪くなった取り組みや、自由意見も多く書いてくれていると思います。

この報告書を見て書いていただけると私たちにとっては非常にありがたいと思います。印旛地区地域審議会で考えるべき気持ちがここにあると捉えると、これをもって、総括をするにあたっての資料とすると良いと考えます。

事務局： 本日は、意識調査報告書と事業評価を資料として用意しました。今回、印旛地区・本埜地区の委員の皆様には、新市基本計画の総括をお願いしておりますので、各地区の住民の意見を聞いたうえで、新市基本計画の進捗について総括していただいた方が良いのではと考え、意識調査を実施したもので、この2つの結果を持って、ご検討いただき新市基本計画の総括をしていただきたいと考えております。

議長： 議事（1）の②新市基本計画の事業評価については以上とします。次に③の新市基本計画の総括（素案）についてを議題とします、事務局より説明願います。

議長： 事務局の説明が終わりました。ご質問等を伺います。

竹内委員： 本総括素案は、審議会承認後、印旛・本埜の地域審議会から市長に答申するものと理解した前提で意見したいのは、総括の表現の中で、「施策を推進していただくために実施したものです。」の「いただく」という内容があるが、丁寧な表現になっている。また、15ページの新市基本計画の検証の項目、最後の行で、「取り組まれるよう」とあるが「取り組むべき」で良いではないか。

丁寧な表現は良いが、対等な立場で答申する方が良いと考えます。

次に新市基本計画の理想像として、2ページ、ひと・まち・自然活気と希望あふれる北総の中核都市となっているが、目指していた「中核都市」に定義は何かあるのか。

事務局： 中核都市に定義はありませんが、市の分類といたしまして、「政令指定都市」、「中核市」、その他は「市」となりますが、人口10万人以上を中都市、10万人以下を小都市というような分類はございます。

竹内委員： 魅力ある印西市を目指すというようなことを含めて中核都市と言われた方が良いのですけども、特に、こんなのが中核都市という内容はあるのか。

横山委員： 総括素案の2ページは新市基本計画に掲載されているものを概要として載せているため、深い意味はないということではないか。

竹内委員： 4ページの中のこの表で、雑種地が計画に対して43%増えているがその理由は何か。

事務局： 登記上の雑種地は、宅地や農地など以外を雑種地としていますが、固定資産の評価等で雑種地というと、宅地に準ずるような、例えば資材置場なども雑種地となりますので、基本的には開発された宅地に準ずるような用途で使われている土地になるかと思えます。

竹内委員： 具体的に増加したと考えられることは何か。

事務局： 考えられるひとつの理由としては、山林農地として登記されていたものを、太陽光発電の用地にしたものなどと思われます。

竹内委員： 山林が20%減というところとリンクしていると考えられる。

吉岡委員： 特定は難しいですが、資材置き場や駐車場なんかも雑種地になるのではないかと。

竹内委員： 5ページ目の下の枠の2行目、いずれも計画見込みを大きく下回っていました。と書いてあるが、大きく下回っているのか。

事務局： 表現は調整させていただきます。

竹内委員： 7ページの「高齢化を抑止」とあるが、抑止するのは難しいのではないかと。

事務局： 若い人たちの流入ですとか、留めるというような施策を展開することによって、高齢化というものの進行を抑制しつつと考えておりましたが、高齢化率の方が適切かと考えますので修正します。

竹内委員： 7ページ下から2行目、「地域活性化対策の早期検討」と書いてあるがこれまでも実施し、今後も継続される事業は継続して取り組む必要があるという表

現の方が良いのではないか。次に9ページ、10ページ目は、合併の効果が出たところだと思います。財政力指数など、用語の定義をつけると、合併の効果が実感できない方に対してもわかりやすくなるのではないか。

次に9ページにNT事業とある。これも、何か定義があれば、その定義を付けるとわかりやすいと思います。

19ページの③の公共交通網の整備充実の下から4・5行目、市内どこの地域でも利用できたとあるが、本当に増便ができるのか。必要に応じて5G技術を利用した、オンデマンド交通の導入など、交通手段の利便性の向上を図っていただきたい。その他にも意見はありますが、出した意見は尊重していただきたいと思います。

事務局： ご意見ありがとうございました。まだ、他にも色々あると思いますので、後日、ご意見を提出いただき調整したいと思います。

なお、総括につきましては、地域審議会の答申書類として出していただきますので、強調したい部分の意見は、尊重していきたいと考えております。

竹内委員： 先ほど、申し上げたところを最低限見直していただきたい。対等な立場で意見を答申するわけですから、対等な立場での表現でお願いしたい。

事務局： 総括については、答申書本文に事業総括を全て記載しますと印旛・本埜同じ意見も多くなると考え、このように纏めさせていただきました。例としては、たとえば会長名の答申書の鏡文に印旛地域として、特にこんなことに留意してまちづくりを進めてもらいたいというようなこともございましたら、総括以外に特に留意する必要があるものがあれば記載していききたいと思います。

竹内委員： 2ページの冒頭に書かれているように3行目に、「新市の円滑な運営と速やかな一体性を確保して」とある。合併後10年も経過し、印旛はこうだとか、本埜はこうだとか、旧印西市はこうだからと言っている場合ではないので、ひとつの市として、10年後の印西市をどうするのか考えるべきだと思います。あまり、印旛としてこうしてほしいという意見よりは、その一体性を確保するという観点で、印西市の一部として意見があるから、こうしませんかというトーンで答申書を書かれるべきだと思います。

事務局： 事務局が書くというよりも地域審議会の方たちの思いを纏める形ですので、そういった形でご意見をいただければと思います。

吉岡委員： 合併の効果というのが焦点になってくると思います。例えば、企業誘致するとか、病院誘致するとか大学を誘致するとか、経済効果により評価することも

ある。合併した効果を数字で表すようなものはないのか。

事務局： 財政指標など数値化できたものがありますが、いろいろな分野でというのは、なかなか難しいところもございます。

吉岡委員： 数値化しているとよりわかりやすいと考えましたが、総括の纏め方として、この総括の記載順としては、最初に人口や財政が掲載されている。次にアンケート結果が出て、最後に事業の検証という構成となっているが、アンケートの結果を一番最後にしたほうが良いのではないかと思います。

事務局： ご意見ありがとうございます。

竹内委員： 先ほどのご指摘の件も含めて、合併して良かったというときに、定量的な評価基準はなかなか難しいと思います。最近、メディアで取り上げられることも多くなり、印西の魅力が徐々に浸透していると感じています。

吉岡委員： アンケート結果については、一般市民への公表は考えているのか。

事務局： 今後、審議会の資料としましても公表していく予定でございます。

吉岡委員： 市民にわかりやすいよう公表いただきたいと思います。

事務局： ご意見として賜ります。

議長： 他に質疑等ありませんか。

無いようでしたら、③の新市基本計画の総括（素案）について以上とします。

本日の議事はこれで終了しましたので、進行を事務局にお返しいたします。

事務局： その他、委員の皆様から何かございますか。

各委員： なし。

事務局： 他になければ、以上をもちまして令和元年度第2回印旛地区地域審議会を終了いたします。長時間にわたりありがとうございました。

会議資料

会議次第

資料1 印旛地区・本埜地区意識調査について

資料2 新市基本計画の事業評価について

資料3 新市基本計画の総括（素案）について

参考資料 イノシシ捕獲数・電気柵設置状況

令和元年度第2回印旛地区地域審議会の会議録は、事実と相違ないことを承認する。

令和2年3月10日

委員 竹内 仁 _____

委員 吉岡 昌瑞 _____